

平成28年11月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,727,099</b>	<b>192,087</b>	<b>1,611,375</b>	<b>59.1%</b>	<b>1,115,724</b>		
1. 営業収益	2,302,614	188,179	1,576,481	68.5%	726,133		
1. 給水収益	2,271,024	187,688	1,546,528	68.1%	724,496		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	490	29,954	94.8%	1,636		
2. 営業外収益	424,102	3,909	34,335	8.1%	389,767		
3. 特別利益	383		559	146.0%	△ 176		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,519,865</b>	<b>71,951</b>	<b>670,210</b>	<b>26.6%</b>	<b>1,849,655</b>	<b>908,601</b>	<b>36.1%</b>
1. 営業費用	2,253,744	71,932	550,623	24.4%	1,703,121	788,863	35.0%
1. 原水及び浄水費	467,770	27,437	218,902	46.8%	248,868	317,213	67.8%
2. 配水費	292,371	16,931	135,413	46.3%	156,958	171,647	58.7%
3. 給水費	106,460	8,096	45,265	42.5%	61,195	56,983	53.5%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,802	12,861	93,638	57.9%	68,164	153,918	95.1%
6. 総係費	139,605	6,607	57,404	41.1%	82,201	89,103	63.8%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316		119,238	48.8%	125,078	119,238	48.8%
3. 特別損失	1,805	19	350	19.4%	1,455	500	27.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>2,640,209</b>	<b>57,341</b>	<b>321,093</b>	<b>12.2%</b>	<b>2,319,116</b>		
1. 企業債	1,414,300	55,000	55,000	3.9%	1,359,300		
2. 負担金・補償金	290,301	808	245,813	84.7%	44,488		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002		11,500	2.0%	564,502		
5. 加入金	12,052	1,534	8,780	72.9%	3,272		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,884,640</b>	<b>37,577</b>	<b>578,630</b>	<b>14.9%</b>	<b>3,306,010</b>	<b>2,774,465</b>	<b>71.4%</b>
1. 建設改良費	3,229,592	37,577	254,225	7.9%	2,975,367	2,450,060	75.9%
1. 取水施設整備費	1,118,656				1,118,656	1,004,670	89.8%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	205,308	94.8%
3. 浄水施設整備費	109,129	20,347	25,888	23.7%	83,241	87,178	79.9%
4. 送水施設整備費	481,140				481,140	455,166	94.6%
5. 配給水施設整備費	1,301,103	17,230	228,337	17.5%	1,072,766	694,930	53.4%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,808	92.9%
2. 企業債償還金	655,048		324,405	49.5%	330,643	324,405	49.5%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>57,365</b>	<b>188</b>	<b>12,500</b>	<b>21.8%</b>	<b>44,865</b>	<b>30,769</b>	<b>53.6%</b>
①有収水量	8,000,000	650,116	5,399,796	67.5%	2,600,204		
②供給単価	283.88	288.70	286.40	100.9%	△ 2.53		
③給水原価	258.40	110.64	124.05	48.0%	134.35		
<b>人件費</b>	<b>249,195</b>	<b>14,469</b>	<b>144,163</b>	<b>57.9%</b>	<b>105,032</b>		
1. 収益的収支	210,173	11,892	119,490	56.9%	90,683		
1. 職員給与費	208,114	11,606	118,093	56.7%	90,021		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059	286	1,397	67.9%	662		
2. 資本的収支	39,022	2,577	24,673	63.2%	14,349		
<b>* 職員給与費</b>	<b>247,136</b>	<b>14,183</b>	<b>142,765</b>	<b>57.8%</b>	<b>104,371</b>		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	6.2%	7.6%				
2. 全職員	10.9%	7.6%	9.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>43,059,091</b>	<b>43,296,315</b>	<b>237,223</b>	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,658,830</b>	<b>3,588,754</b>	<b>△ 70,076</b>	
1. 現金預金	2,796,809	2,106,732	△ 690,077	
2. 未収金	820,666	454,624	△ 366,042	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	29,520	△ 4,453	
5. 前払費用・前払金	190	947,241	947,051	工事前払金等
6. その他		50,636	50,636	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>637,576</b>	<b>637,576</b>	
1. 営業費用		518,013	518,013	
2. 営業外費用		119,238	119,238	
3. 特別損失		325	325	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>50,118,489</b>	<b>50,923,211</b>	<b>804,722</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,281,820</b>	<b>11,336,820</b>	<b>55,000</b>	
1. 企業債	10,994,615	11,049,615	55,000	
2. 引当金	287,205	287,205		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,547,494</b>	<b>537,381</b>	<b>△ 1,010,112</b>	
1. 企業債	655,044	330,639	△ 324,405	H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	48,281	△ 777,002	
3. 前受金	112	80	△ 32	
4. 引当金	55,109	28,768	△ 26,341	*賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	129,614	117,669	
うち仮受消費税		117,569	117,569	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,443,211</b>	<b>9,697,094</b>	<b>253,883</b>	
1. 長期前受金	9,443,211	9,697,094	253,883	償却資産に係る財源のうち、補助金・補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
<b>H. 資本金</b>	<b>9,340,661</b>	<b>9,659,677</b>	<b>319,016</b>	
1. 自己資本金	9,340,661	9,659,677	319,016	*固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>330,417</b>	<b>22,900</b>	<b>△ 307,517</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		*非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517		△ 307,517	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>1,494,452</b>	<b>1,494,452</b>	
1. 営業収益		1,461,924	1,461,924	
2. 営業外収益		32,004	32,004	
3. 特別利益		524	524	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>50,118,489</b>	<b>50,923,211</b>	<b>804,722</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.19	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	118.01	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	253.96	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.67%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.67%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	667.73%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	392.04%	=現金預金÷流動負債	

\*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成28年11月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,564	245,605	246,770	245,066	△1,165	539
2 調定水量	m <sup>3</sup>	645,086	5,362,213	5,459,500	5,470,878	△97,287	△108,665
3 調定料金(税抜)	円	173,785,395	1,431,969,994	1,437,300,000	1,444,589,673	△5,330,006	△12,619,679
4 口振加入件数	件	25,322	203,572	-	204,007	-	△435

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,708	-	82,496	△ 788
6 給水件数	件	30,323	-	30,335	△ 12
7 開栓処理件数	件	158	2,181	1,946	235
8 閉栓処理件数	件	281	2,154	1,866	288
9 給水工事設計審査	件	61	489	490	△ 1
10 給水工事竣工検査	件	65	686	556	130
11 経年メーター交換	件	202	2,797	1,183	1,614
12 メーター口径変更	件	5	39	19	20
13 月末停止件数	件	1	79	74	5

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	199,418,887 円	87.11 %	202,572,967 円	87.02 %
15 過年度分	4,784,630 円	97.53 %	4,912,730 円	97.36 %
16 全 体 (計)	204,203,517 円	-	207,485,697 円	-

4 給水装置工事指定業者(11月期異動なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	8	16	12	13	9	8	14	7	106	116	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	92/95	15/15	59/62	12/12	10/10	0/0
契約締結	一般	21	5	21	5	0
	指名	46	6	28	5	0
	随契	25	4	10	2	5
	合計	92	15	59	12	10

※入札中止 当月 0件:累計2件/入札不調 当月 0件:累計 3/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	17	3	工事
中間検査	13	6	工事
合 計	30	9	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	2・30日	11・12月 事業打合せ等
事業調整会議	4・30日	第8・9回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
水道事業連絡会議	9日	第8回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	15日	第8回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	17日	11月期 「漏水防止への取組みについて」
給水拠点設置訓練	21日	第8回 米山総合支所
経営分析会議	25日	10月期 各種経営分析等
例月出納検査	28日	10月分 例月出納現金検査
指名委員会	4・9・22・28日	第24回・第25回・第26回・第27回
入札	2・17日	7件・8件
緊急メールの発出	-日	漏水8、破損3、配信訓練1、地震情報2、配備情報2

特 記 事 項

1. 11月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は187,688千円(税込)で、前月期に比べて3,074千円の減で、予算執行率(累計)は68.1%(前年度59.8%)、対前年同月比(税抜)では1,212千円の減となっています。営業収益は手数料収益490千円を含む188,179千円、営業外収益は事務手数料3,696千円、北上川水質汚濁防止協議会からの水道週間記念植樹助成金30千円を含む3,909千円となりました。

当期の営業費用は71,932千円を執行し、累計額は550,623千円、予算執行率(累計)は24.4%(前年度27.6%)となりました。特別損失として放射性物質検査料19千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金808千円、加入金1,534千円を執行し累計で254,593千円となり、執行率(累計)は9.9%(前年度0.5%)でした。また、企業債(繰越)55,000千円を執行しました。

支出は、浄水施設機器整備費に20,347千円、配給水工事請負費に17,230千円、事務費2,591千円を執行し、累計では442,813千円となり、執行率(累計)は11.8%(前年度10.3%)でした。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,188千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 水道週間作品コンテスト表彰式を開催

第58回水道週間の作品コンテスト受賞者表彰式を11月11日(金)に開催しました。全国作品コンテストの入選(作文)4名を含む33名の受賞者に市長から表彰状の授与と記念品を贈呈しました。また、審査を担当していただいた委員さんから講評をいただき、受賞者を代表して全国作品コンテスト入選の加賀野小2年、小野寺都真さんが作文の朗読をしました。なお、表彰式の前に受賞全員で記念撮影を行いました。さらに、11月14日(月)から21日(月)までイオンスーパーセンター佐沼店に展示して、市民の皆さんにご覧いただきました。今回応募の総数は、図画、習字、標語、作文を市内の小中学校から689点となりました。



受賞者記念撮影

(2) 登米市子ども議会に出席

とめ青年会議所主催の登米市子ども議会2016が11月12日(土)に開会されました。

水道事業所に関連する質問があり説明員として1名出席しました。「登米市自慢の自然を未来へ残す方法について」の再質問で「北上川クリーン作戦」についての再質問があり、水道週間行事のうち「北上川クリーン作戦」、水源涵養を目的とした「水道週間記念植樹」、園児の手による「稚魚の放流」など、河川愛護の活動について答弁しました。



作文の朗読

(3) 水道技術管理者資格取得の実務研修生を受け入れ

平成28年度水道技術管理者資格取得講習会実務研修が11月7日(月)から始まり、登米市管工事業協同組合から1名を受入れました。水道技術管理者は、水道管理の技術上の業務を担当するため1人置かなければならず、学歴と実務経験により資格を得るほか、日本水道協会が行う講習を修了した者となります。すでに学科講習を15日間受講し、この実務研修を15日間受講することになります。研修の指導者は、水道事業所の職員がそれぞれの分野で行い、講義や現場実習などで研修を重ね水道技術管理者の資格を取得することとなります。

(4) 市民参加の新たな森づくりに参加

11月4日(金)に「市民参加の新たな森づくり・秋」植樹祭が東和町米川西綱木地内で開催され、水道事業所から職員2名、受託者1名と給水車1台で参加しました。給水車の水で、木々への補水と作業後の皆さんの喉を潤しました。

(5) 発注者モニタリングを実施

料金徴収・給水装置管理等業務委託の受託者へのモニタリングを11月10日(木)と15日(火)に実施しました。聞き取り等を行い、概ね委託仕様書どおり履行されていることを確認しました。水道事業所では、今後も適時モニタリング等を行い、適切な委託管理に努めていきます。

# 平成28年11月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	786,015	6,669,508	6,697,090	6,788,145	-27,582	-118,637
総配水量	754,571	6,377,463	6,448,760	6,402,226	-71,297	-24,763
1 有効水量	698,100	5,785,520	5,902,950	5,896,767	-117,430	-111,247
(1)有収水量	650,116	5,399,796	5,493,200	5,504,960	-93,404	-105,164
(2)無収水量	47,984	385,724	409,750	391,807	-24,026	-6,083
2 無効水量	56,471	591,943	545,810	505,459	46,133	86,484
(1)漏水量	56,252	587,018	540,000	499,524	47,018	87,494
(2)その他無効水量	219	4,925	5,810	5,935	-885	-1,010
3 有収率	86.16	84.67	85.18	85.99	-0.51	-1.32

※当月期の最大配水量は、11月9日(水)に記録した【26,115m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	4	1,004,670	0	0	113,986	89.8%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	7	61,290	7	25,888	21,951	79.9%
エ 送水管整備事業	5	481,140	5	455,166	0	0	25,974	94.6%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,285	27	466,593	8	92,520	606,172	48.0%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 9)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.63	0.40	0.41	0.56	0.45
最低	0.58	0.23	0.20	0.50	0.35
最高	0.67	0.67	0.70	0.60	0.50

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H28.11.22	<0.9	<0.7	米谷水系浄水場	H28.11.22	<0.8	<0.9
石越浄水場	H28.11.22	<1.0	<0.8	楼台浄水場	H28.11.22	<0.8	<0.9
大萱沢浄水場	H28.11.22	<0.9	<0.7	合の木浄水場	H28.11.22	<1.0	<1.0
米川水系浄水場	H28.11.22	<1.0	<0.8	大綱木浄水場	H28.11.22	<0.8	<0.9
錦織水系浄水場	H28.11.22	<1.0	<0.8	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 新田配水池送水管工事現場見学会を開催

「普段は土の中にある水道管がどのようにになっているか、地震に強く口径の太い水道管を布設している現場を見学し、水道への理解を深めていただくこと」を目的に見学会を開催しました。

11月18日～24日、新田小学校、北方小学校、西郷小学校、南方小学校の生徒が、新田配水池送水管布設工事現場の見学に訪れました。

始めに現場事務所において水道事業所及びダクタイル鋳鉄管協会の担当者が「水道管の役割」、「耐震管とは何か」を模型やパネルを用いて説明を行い、その後、管布設工事現場に移動し請負者(株式会社 菅慶)が「水道工事の技術」をポイントに工程の説明を行いました。

水道事業所では、今後も積極的に事業の見える化を行い、お客様に信頼される水道事業を目指します。



	学校名	生徒	教諭	計
11月18日	新田小学校	6年生31名	2名	33名
11月22日	北方小学校	4年生26名	1名	27名
11月24日	西郷小学校	4年生16名	2名	18名
11月24日	南方小学校	6年生38名	2名	40名
合 計		111名	7名	118名

### 2 下り松ポンプ場不断水工事現場見学会を開催

下り松ポンプ場への導水管接続に伴うインサートバルブ(φ600)設置、不断水分岐(φ600×500)工事の現場見学会を11月9日・11日に開催しました。

接続に長時間の取水・浄水処理停止が出来ないことから、通常の浄水処理を行いながら施工可能な不断水工法を採用しました。

既設導水管(SPφ600)から下り松ポンプ場まで導水管(DCIP-NSφ500 L≒23.5m)を布設するための不断水分岐と、下り松ポンプ場運用開始後に不要となる導水管切離しのためのインサートバルブ設置工事で、藤井・栗山副市長をはじめ市建設部・水道事業業務受託者等多数が視察に訪れました。



### 3 平成28年度の漏水調査結果について

11月末の漏水調査の結果72件144.39m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

### 4 地震発生状況

11月12日午前6時43分頃、宮城県沖を震源とするM5.8の地震が発生(登米市震度4)、11月22日午前5時59分頃、福島県沖を震源とするM7.4の地震が発生(登米市震度4)しました。各浄水場等施設点検の結果異常はありませんでした。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
	配水管	9	105.44
	付属施設	0	0.00
	給水管	63	38.95
	計	72	144.39